

平成 28 年度戦略的基盤技術高度化 (サポイン事業)募集開始のご案内

＜戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）とは＞

この事業は、中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究・開発や販路開拓への取り組みを支援する国の補助事業です。この事業は、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」で定める12の基盤技術を活用した特定研究開発計画の認定が必要で、補助金と同時に申請することが可能です。

(公財)高知県産業振興センターが研究開発の運営管理、共同研究機関との調整、販路開拓等をご支援しますので、ご相談ください。

【公募期間】平成28年4月15日（金）～平成28年6月9日（木）

【補助事業期間】2年度又は3年度

【補助金額】初年度 4,500万円以下

【補助率】大学・公設試等の補助対象経費：定額（初年度 1,500万円以下）

上記以外の補助対象経費：2/3以内

【対象経費】機械設備費、労務費、事業費（備品・消耗品費、旅費・交通費、外注費、運搬費、マーケティング調査費等）

【公募開始について（中企庁ウェブページ）】

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2016/160415SenryakuKoubo.htm>

【利用者の声】（戦略的基盤技術高度化支援事業 研究開発成果事例集 平成23年度～24年度より抜粋）

- | |
|---|
| ・サポイン事業は、製品を量産する装置開発を進める上で、自社が検討していた研究開発のアクセラとして活用した。（電子部品・デバイスの実装） |
| ・中小企業が主体になると思い込みで対象となる川下産業を決めてしまうこともあるが、大学のアドバイスを受けて技術の持つ価値を活かすことができる市場に絞り込むことができた。（切削加工） |
| ・専門家が保有する知識や分析を踏まえて事前に考察をしてからテストを行うことで、試行錯誤的な回数を減らすことにつながった。（プラスチック成形加工） |
| ・当社だけではアプローチが利かない機器メーカー等に対し、協力メンバーより技術や製品データを事前に紹介いただき、その後デモ機を用いて実証することで、初めて世に出す機器の信頼性を担保した。（真空の維持） |

【お問い合わせ先】

公益財団法人高知県産業振興センター 産業連携推進部 産業連携課
TEL：088-845-6600 担当者 西川、植田、野口

1 対象となる技術

国は中小企業が目指すべき技術開発の方向性と将来ビジョンを「中小企業の特定期ものづくり基盤技術の高度化に関する指針」（技術指針）として取りまとめています。

サポイン事業は、この指針に基づき指定された以下の12項目に沿って中小企業者が作成した特定研究開発等計画を支援するものです。

- (1) デザイン開発に係る技術
- (2) 情報処理に係る技術
- (3) 精密加工に係る技術
- (4) 製造環境に係る技術
- (5) 接合・実装に係る技術
- (6) 立体造形に係る技術
- (7) 表面処理に係る技術
- (8) 機械制御に係る技術
- (9) 複合・新機能材料に係る技術
- (10) 材料製造プロセスに係る技術
- (11) バイオに係る技術
- (12) 測定計測に係る技術

※詳しくは、「中小企業の特定期ものづくり基盤技術の高度化に関する指針」をご覧ください

2 高知県に事業所を置く企業が採択されたプロジェクト

	事業者名	プロジェクト名
1	株式会社垣内 光電設株式会社 高知工科大学 高知工業高等専門学校 高知県工業技術センター	懸濁結晶法による凍結濃縮システムの開発（H24～H26）
2	山本貴金属地金株式会社 高知大学	患者負担低減を達成する『高強度』かつ『フッ素除去放性』を持つ 歯科充填用コンポジットレジンの開発（H23～H24）
3	高須工業株式会社 高知工科大学 高知県工業技術センター	無欠陥ダイカスト技術の開発と高強度・高機能・薄肉アルミ製品の 実用化（H22～H24）
4	高知 FEL 株式会社 有限会社釜原鋳鋼所 東京工業大学 大阪大学	超精密ダイヤモンド切削工具の製造技術の開発（H22～H24）
5	睦月電機株式会社 岩手大学	プラスチック製マイクロ流路プレートの量産技術の開発と製品化 （H22～H23）